



NEWS LETTER かながわ

2022 年度第 2 号(通巻第 32 号)

2023 年 3 月版 神奈川支部 発行

連絡先:神奈川支部広報担当

jacdpkanagawa.kouhou@gmail.com

With コロナの観点から、2022 年度の神奈川支部の活動も、支部総会、第 1・2 回資格更新研修会全てを Web 開催としましたが、今回のニューズレターは、2022 年度第 2 回資格更新研修会の報告を中心にお届けいたします。

巻頭言

神奈川支部副支部長 吉川知夫

3 月、「年度末は一日くらい休みを取ろう」と思っていたのですが、そんなことは許されず、年度末のバタバタした日々から、そのまま新年度に突入。職場は職員の入れ替わりもあり、ちょっと雰囲気が変わった印象です。気持ちを新たに、今年度も頑張ろうと思います。支部会員のみなさまは、年度末・始をどのように過ごされたでしょうか？

私の勤務する国立特別支援教育総合研究所では、約 2 か月間（正確には 9 週間）の「特別支援教育専門研修」を行っています。障害種ごとのプログラムを 7 つ設け、3 期に分けて実施しています。すなわち、1 年の半分はこの専門研修を行っていることとなります。令和 3 年度は、9 週間の研修を全てオンラインで実施しました。令和 4 年度は、6 週間をオンライン、3 週間を集合・宿泊しての研修として実施しました。令和 5 年度も令和 4 年度と同様の実施予定となっています。もう、以前のように 9 週間宿泊して研修を行うことはないのでは、と思います。オンライン研修、集合しての研修ともにメリットがあります。オンライン研修の充実を図ることはもちろん大事ですが、集合して行うことで研修効果が高まるような内容や方法の工夫も必要になるでしょう。

コロナ禍、神奈川支部研修会も全てオンラインで実施してきました。令和 5 年度も、オンライン研修の計画としています。5 月 8 日から、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが 5 類に移行します。そろそろ、支部研修会も、集合して行う企画を考えたいと思っています。支部会員の皆様からのご意見等をお寄せいただければと思います。

この 4 月に、日本臨床発達心理士会は一般社団法人となります。皆様には引き続き、神奈川支部にご支援ご協力の程、お願い申し上げます。



神奈川支部研修会報告

2023年2月23日(木:祝日)に、2022年度第2回資格更新研修会をオンラインで実施しました。講師の先生のお話、グループディスカッションともに大変有意義な内容でしたので、ご報告いたします。

講演会

○「発達障害のライフステージを見据えた早期支援—長期追跡調査から—」

講師:岩佐 光章氏

(横浜市総合リハビリテーションセンター、横浜市西部地域療育センター 発達精神科医)

今回ご講演いただいた岩佐先生は、医師として長年、発達障害児者の臨床を行うとともに臨床研究を行っておられます。先生ら研究チームが2022年に発表なさった、横浜市で行われた自閉スペクトラム症者の長期追跡調査(Yokohama Longitudinal ASD Birth Cohort Study; Y-LABiC スタディ)の結果を紹介いただきながら、ご講演いただきました。

講演では、長期追跡調査の結果をもとに、発達障害のライフステージを見据えた早期支援について、ご自身の発達精神科医としての経験を交えながら、「子どもとその親はその後どうなったのだろうか? 支援者は何を達成し、何が課題なのだろうか?」をテーマにお話が進みました。

先生ら研究チームの報告では、調査参加者(170名,平均年齢 24.6 歳)の「心理社会的転帰」が、海外の先行研究よりも転帰が良い人の割合が多い結果となったことが示されました。参加者の大多数は、幼児期・学齢期と早期療育や特別支援教育と、継続した支援を受けていました。また成人になった現在の生活では、仕事や学校、スポーツ、余暇や趣味など主要な地域活動に参加していました。住居の確保や就労について完全に自立することは難しいものの、多くは家庭外の多くの活動に参加し、家事やセルフケアに従事していました。特に、一般人口の行動者率(1年以内にそれを行った人の割合)との比較において、「スポーツ」のうち、「ウォーキングや軽い運動」に関して、ASD の人たちが方が数値が高く、また、「娯楽や趣味」では、アニメや鉄道などが含まれる”その他”で、ASD の人たちが方が高い数値となったという結果は印象的でした。

講演をお聞きしたのち、今回も参加者同士のグループディスカッションの時間を設け、先生から頂いたテーマをもとに、ディスカッションを行いました。各グループで活発な意見交換がおこなわれ、支部会員同士の交流の時間ともなりました。

最後に、ASD診断概念の範囲の急拡大、子ども・家族を取り巻く複合的な課題について等、ASD の人の心理社会的転帰を考えるにあたっての現在の課題についても先生から示唆いただきました。支援者として、ライフステージを見据えたASDの人の支援についての理解が深まった研修となりました。

(研修担当 大川順子)

アンケート結果

アンケートへのご協力ありがとうございました。ご意見ご感想の一部を紹介させていただきます。

■研修の内容について

- ・ASDの方の予後についての調査についてのお話を伺うのは初めてだったので、とても興味深かったです。
- ・我が国のとても意義ある追跡調査の丁寧なご報告に、心から感謝いたします。世界との比較もとても参考になるもので、私たちの今とこれからの把握・予測ができるものであると同時に、私たちがASDや発達障害のある方のQOLを支える文化や支援体制に大きな示唆を与えるものでした。
- ・岩佐先生の講演内容・資料が大変有意義でした。今後に生かせることばかりでした。
- ・専門機関としてどのようにケースをフォローしていくべきかを改めて考える機会になりました。他の分野で働く先生方のご意見を聞けたのも貴重でした。
- ・長い目の視点を持ってお子様やご家族に関わって行くことの大切さを改めて感じる機会となりました。
- ・継続支援の必要性を調査研究の視点で講義していただけてよかったです。
- ・全国研修会では、グループ討議はなかなかできないので、支部研修で引き続き継続していただけるとありがたいです。
- ・研究データに基づいた講義だけでなく、ディスカッションもあり、様々な意見や知見を深める機会となり、ありがとうございました。

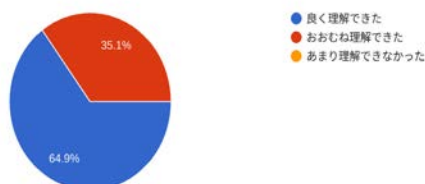
■運営面について

- ・開始前の案内、グループディスカッションの企画など丁寧にご用意いただきありがとうございました。
- ・事務局の方の音声がややききとりにくかった。ハウリングしたり、こもっていたりで、音声を大きくすると他の方の音声が特大になってしまうので、調整がしづらかったです。
- ・事前の資料URL配信が届いていなくて、開始されてからすぐにチャットに配信され一安心しました。
- ・今後会場での対面研修も入れていただくことを希望します。
- ・グループ会議はとても勉強になりました。楽しかったです。

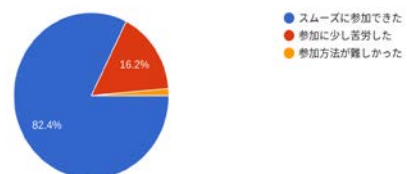
■今後の神奈川支部主催研修会について

- ・事例検討会の実施・支援者養成のための研修などを希望いたします。
- ・乳幼児期、学童期、青年期、成人期などにおける保護者、家族支援について。
- ・最新の情報を伺う機会があると助かります。しかし、昔から変わらない普遍的な大切な情報も再確認していきたいと思います。
- ・事例検討会の実施・支援者養成のための研修などを希望いたします。
- ・オンライン形式はよいと考えます、対面での効果と変わらないかなと感じています。強度行動障害に関するテーマも興味があります。

研修の内容理解はいかがでしたか。
74件の回答



オンライン開催した研修会への参加方法はいかがでしたか。
74件の回答



- 今後の研修会テーマの希望等を含め、貴重なご意見をありがとうございました。今後の研修会に生かしていきたいと思います。
(研修担当 高橋真美)

職場紹介



川崎市わーくす川崎 支援員 日置皓子(ひおきあきこ)

【法人、事業所について】

- ＊社会福祉法人県央福祉会は、神奈川県内で保育、介護、障害、医療等の 130 以上の事業所がある法人です。
- ・私が所属する川崎市わーくす川崎は、その中の 1 つの事業所で、就労継続支援B型、就労移行支援、就労定着支援、特定相談支援の 4 つの事業があります。
- ・以前は川崎市の施設でしたが(川崎市わーくす日進町)、指定管理を受け、来年度で 10 年目を迎えます。

【私の仕事】

- ＊現在は就労継続支援 B 型に所属し業務しています。
- ・現在利用者 40 名、職員 10 名程度が所属しています。
- ・日中は主に軽作業(箱折り、緩衝材作成、広報誌や書類の封入封緘など)、清掃作業(福祉施設、特例子会社、近隣のアパートなど)といった作業支援の他、面談業務も行っています。

仕事上の悩みや、生活や対人関係での相談、またご家族や関係機関(グループホームなど)の相談を受けることも非常に多くあります。

知的障害がある方が大半で、精神障害を併せ持つ方も多く、言葉で伝えられない気持ちや理解できないことで混乱を生じやすいです。そのため、ご本人との面談の中では、障害特性を理解した上で、言葉だけではなく様々なツールを駆使しながら聞き取り整理したりすること、またこちらの言葉一つ選びながらお伝えすることが求められます。

また日常的に関わりながら表情や言動を注意深く観察することも大切だと感じます。

【これから…】

心理の勉強、福祉の勉強、どちらも大切にしながら精進していきたいと思います!!

「職場紹介」のコーナーについて

今までこのコーナーでたくさんの会員の方に職場紹介をしていただきました。今回担当して下さった日置様をはじめ、原稿を寄せて頂いた皆様に改めてお礼を申し上げます。

神奈川支部では支部会員同士の交流にも重点を置いて活動をしてきましたが、コロナ禍においては総会や研修もオンラインで実施せざるを得ず、十分な会員交流を行うことが難しかった 3 年間とも言えるかと思えます。このような状況の中、このコーナーで様々な分野でご活躍の皆様に「職場紹介」をして頂いたことで、会員の皆様の活動を知ることができ、大変有意義だったと思っております。今後は、新法人への移行にともない、支部の広報活動やニュースレターの形式に変更がある可能性もありますが、このコーナーに対するご感想・ご意見等ありましたら、是非、広報担当までお寄せください。

連絡先: 神奈川支部広報担当
jacdpanagawa.kouhou@gmail.com

お知らせ



■ 神奈川支部 2023 年度 総会

○ 日 時:2023 年 5 月 14 日(日) 午前 10 時から 11 時、Zoom によるオンライン開催

※ 例年の内容に加え、4 月の士会の一般社団法人設立に伴う内容を含めて実施する予定です。
詳細は、神奈川支部のホームページまたは、メール配信システムからの情報をご確認ください。

■ 神奈川支部 2023 年度 第 1 回資格更新研修会(予定)

○ 日 時: 2023 年 9 月 3 日(日) 10:00~13:00 【1ポイント】

○ 内 容: <講演会> 療育手帳の判定基準の全国統一化に向けた厚労省の検討について(仮)

○ 講 師:小林 真理子 氏 山梨英和大学

○ Zoom によるオンライン開催

○参加費:本会会員(準会員を含む)500 円、本会員ではない臨床発達心理士 5500 円

※ 県内で手帳の判定等、療育手帳に関連した業務に携わっている方(児童相談所に勤務されている方等)で話題提供をしていただける方を募集しております。神奈川支部事務局宛て(jacdpanagawa@gmail.com)までメールにてご連絡ください。

※ 詳細が決まりましたら、神奈川支部のホームページまたは、メール配信システムにて配信します(新法人に登録された神奈川支部会員の方のみ)。

2022年度 神奈川支部 広報活動に関するアンケート結果のご報告

2022年10月に「神奈川支部広報活動に関するアンケート」を神奈川支部の会員の皆様を対象に実施いたしました。神奈川支部会員のみなさまにはお忙しいところアンケートにご協力いただきましたことを、改めて御礼申し上げます。

アンケートには神奈川支部会員総数 248 名中、52 名の方から回答をいただきました(回収率 21%)。主なアンケート結果としては以下の通りになっております。

- ・神奈川支部の活動にかんしては、約 70%が神奈川支部からのメールで把握しているようでした。一方で、ホームページの利用は半数以下になっている結果でした。
- ・ニューズレターは約 90%が役に立っていると感じていますが、全体をよく読んでいるのは 25%という結果でした。最もよく読まれているのは「研修報告」でした。
- ・神奈川支部からの情報発信では、周辺地域のものも含む研修情報と、神奈川県内の求人情報の発信を望む声が多くみられました。

頂いたご意見をもとに今後の広報活動について、引き続き検討をさせていただきます。なお、新法人への移行にともない、新法人や各支部からの広報活動のやり方にかんしても変更があります。新法人移行後、改めて神奈川支部の広報活動についてはお知らせさせていただきます。

また、引き続き神奈川支部の広報活動にかんしてご意見、ご提案等を募集しております。ご意見、ご提案がありましたら以下のメールアドレスにご連絡いただければと思います。

今後ともよろしく願いいたします。

臨床発達心理士神奈川支部広報担当 橋爪 須田

jacdpanagawa.kouhou@gmail.com

■ ニューズレターの配信について

ニューズレターの配信は、神奈川支部のWebサイトからのみにさせて頂いており、郵送はしておりません。今回もホームページにアップした後、メール配信システムにて「アップしました」と配信させて頂きました。お近くの会員の方でご存じない方がいらっしゃいましたら、是非神奈川支部のホームページをご覧くださいませよう、お知らせください。

<編集後記>

「日本臨床発達心理士会」が2023年4月1日より一般社団法人として本格的に活動を始めるととなり、会員の皆様にもいろいろなお願いをしているところですが、このニューズレターもまさにその法人化に移行する真ただ中に発行させて頂きました。

神奈川支部の活動もそれに伴い、様々な検討を重ねています。広報活動に関しましても、先日会員の皆様を実施させていただいたアンケートの結果をご報告いたしました。お役に立つ広報活動や形式の変更を含めニーズに合ったニューズレターの発行を工夫していこうと考えているところです。そのような中、今回のニューズレターは、今までの形式で第2回資格更新研修会の報告を中心にお届けいたしました。

今回のニューズレター全体をお読みになったの感想や、今後のご希望などありましたら、広報担当宛てメールアドレス (jacdpanagawa.kouhou@gmail.com) にご連絡をお願いいたします。

(広報担当 橋爪 美津子・須田 恭平)